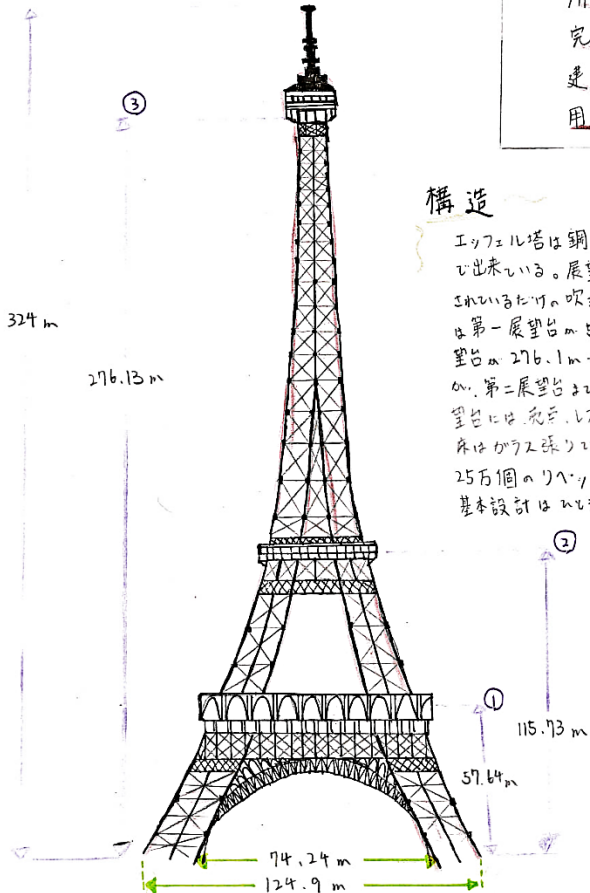


The Eiffel Tower



基本データ

高さ 324 m
 重量 7300 トン
 所在地 フランス パリ市7区
 完成年 1889年3月31日
 建築家 ギュスターヴ・エッフェル
 用途 展望タワー・電波塔



構造

エッフェル塔は鋼より炭素含有量が少なく強度の低い煉鉄で出来ている。展望台は簡単な柵あるいは金網が設置されているだけの吹きさらしである。展望台は3つあり、高さは第一展望台が57.6m、第二展望台が115.7m、第三展望台が276.1mである。エレベーターが設置されていない。第二展望台までは階段でも昇ることが可能。第一展望台には、売店、レストラン、博物館などが2014年に設置され、床はガラス張りである。

25万個のリベットが用いられて、1665枚がある。基本設計はエレベーターの風圧を減らす必要から生まれた。

塔はギュスターヴ・エッフェルの着想ではあり、その細部はジュール・スチファン・ソウヴストルの発想である。二階の塔の基部を結ぶ4本のアーチや頂上の球上構造物も行う。

建設

1889年のフランス革命100周年を記念してパリで第4回万国博覧会が開催されることになり、1844年に決定した。1866年、万博の目玉となる大建造物を選定するためのコンペティションでは満場一致でギョスターヴ・エッフェルの案に決まった。1887年1月28日に起工式が行われ、エッフェル塔建設が開始された。6月11日には基礎が完成し、ついで4本の脚から塔本体の建設が始まった。1888年3月には1階の展望台が完成し、4本の脚が完成し、同年8月14日には2階の展望台、1889年2月24日には3階の展望台が完成した。3月30日に竣工し、翌日には当時の首相を招いて竣工式が行われた。工期期間は当初の2年2か月であったが、事故死者を1人も出さずに完成させた。



当時の評価

あまりに奇抜な外見のため、建設当時は賛否両論に分かれた。1887年2月には建設反対派の芸術家たちが連名で陳情書を提出している。反対派の文学者ギド・モローは、「エッフェル塔の1階にあるレストランに通ったか、その理由として、「ここがパリの中心でエッフェル塔を見下ろす唯一の場所だから」と言っている。このため、「エッフェル塔の嫌いなやつはエッフェル塔へ行け」ということわざも生まれた。

万博終了後

パリ万博では、エッフェル塔が目玉となり、パリだけでなく世界中から観光客が訪れた。万博中はエレベーターが完成していなかったため、入場はできなかったが、5月26日に、運行を開始し、1889年には約200万人が訪れるなど、大盛況となった。しかし万博終了後、入場者数は低迷を続け、1年で約10万〜20万人しか訪れなくなったため、20年後の1909年には解体される予定となっていた。しかし、「軍専用の電線が飛ばすのにちょうどいいから使いたい」という話から、ギョスターヴ・エッフェルが主張したため、運良くそのまま残されることになった。そして今でも、パリの名所として知られている。

1991年 世界遺産に

1991年にエッフェル塔はセーヌ川周辺の周辺風景とともに世界遺産に登録された。そのため、よほどのことかぎり、解体の話が再び出されることはないだろう。来場客数は毎年700万人という、世界でもっとも多くの人が訪れる有料建造物となっている。「実に悲劇的衝刺」と同年代の人に評されていたが、その物語はまさに19世紀の産物であった。

参考文献

- 『奇想遺産Ⅱ』
- 『知られざるパリの建築』
- 『世界の20世紀建築』